保育園のリーダーとして…

9月の子どもの様子 そら組

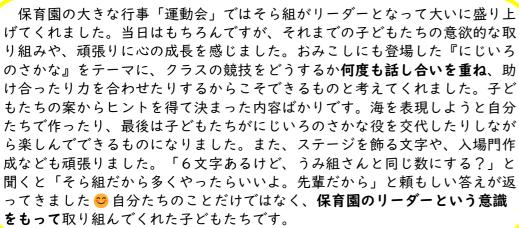
















- ~ねらい~
- ・生活の見通しをもったり、必要なことに意欲を向けたりして 取り組む
- ・思いや考えを伝え合いながら、目的に向かって友達と遊びや 活動を進める
- ・様々に体を動かす遊びに取り組み、多様な動きをしたり、自分 の力を出したりする楽しさや心地よさを味わう





リレー遊びでは「何番走りたい?」「じゃあ、ジャンケンしようか」など順番は子 どもたちで話し合ったり、ジャンケンをしたりして決めるという経験を多くしまし た。自分の気持ちを伝え、友達の思いを聞き、チームとして勝つためにどうするか、 **共通の目的に向かって取り組む楽しさ**を感じられたようです。勝ち負けも何度も経 験し、嬉しい気持ち、悔しい気持ちを経験して心も大きく成長しました。そら組の子 どもたちは驚くほど前向きで、転んでも、バトンを落としてしまっても途中で諦める ことなく次の人にバトンをしっかり渡し、悔し涙はその後に…。前日に靴が原因で困 った子どもがいたので、急遽『裸足リレー』に。子どもの思いを受け止めたり、寄り 添ったりしていくことで、みんなにとっていい方法を見付けることができました。

高齢者、地域に元気を… 地域の伝統文化を大切に







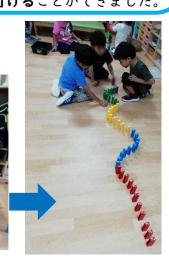






遊びの中での学び





子どもたちに外で練り歩きをさせてあげたく、昨年同様に美幸苑までおみこし練り歩きをしました。園内の時よりも 元気に「わっしょい!わっしょい!」の声が聞こえました。美幸苑で待っていてくれたおじいさんおばあさんには、元 気な遊戯を披露し、「元気でいてください」と伝えてきました。「泣きそうだったね」「笑ってくれたね」など、感じたこ とを口々に知らせてくれました。**人に喜んでもらえる経験**は子どもたちの心を満たしてくれたようです ^② 帰り道は、少 し疲れ始めたところに中学生が窓から手を振ってくれていることに気付くと、「わっしょい!」声が大きくなり、お兄 さんが窓から「わっしょい!」と返してくれ、子どもたちは大喜び。最後にまた盛り上がりました月**なかなか地域で経** 験できなくなったおみこし練り歩きは、園の行事として今後も大切にしていけたらと思います。

お店屋さん、アイドル、ゲームのキャラクターなどになりきって遊んだり、玩具を使って数 や形、長さなどを比べたりして遊んでいます。ある日『ジェンガ』に使う玩具を使って『ドミ ノ遊び』が始まりました。もちろん一人ではなく友達と力を合わせて慎重に並べていました。 途中で倒れてしまうと、悔しがったり友達を攻めてしまうこともありましたが、そこから学ん で次は倒れても笑ったり、気を付けたりしていました。ようやく全て並べ終え、「いくよ~」 と緊張の時が…。「…?…え?」次々倒れないのです!「あ、ここ広すぎ(長すぎ)たん だ!」と玩具の間隔が空きすぎていたことに気付き、再度玩具の間隔を確かめながら直線から 曲線のものに変え、次は成功~!!遊びの中で自然と**数量感覚や言葉による伝え合いの力**が育っ ています。